

中長期事業方針

株式会社C&Gシステムズ

平成27年3月25日



会社概要

商号	株式会社C&Gシステムズ(JASDAQ 6633)
本社	(東京本社)東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社)福岡県北九州市八幡西区引野1-5-15
代表者	代表取締役社長 塩田 聖一
資本金	5億円
社員数	連結:224名 単体:196名 (2014年12月末現在)
連結子会社数	5社
連結業績	売上高:40億47百万円/営業利益:2億78百万円 (2014年度実績)
連結財政状態	総資産:44億46百万円/純資産:26億41百万円 (2014年12月末)

経営理念および成長戦略テーマ

□ 経営理念

技術立国日本を代表する
CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。

□ 成長戦略テーマ:「Global Niche Top」

「Global(世界で)」 「Niche(当社が存在意義のある市場で)」 「Top(頂点に立つ)」

コアとなる金型周辺市場において
「Global Niche Top」を実現する

中長期事業方針

基本戦略①

既存の基幹収益源
(国内CAD/CAMシステム事業)の
維持・拡張

基本戦略②

成長する
海外CAD/CAM市場の
取り込み

基本戦略③

次代収益源
としての
SI事業の育成

国内CAD/CAMシステム事業の維持・拡張

国内CAD/CAMシステム事業の進捗

合併後(2010~)の重点施策

- ① 金型向けCAD/CAM
全天候型商品群と
自社開発力の保持
- ② 定期的なバージョン
アップと並行した
リニューアル商品の投入
- ③ 既存ユーザの囲いこみ戦略
強化(地域密着型サポート)

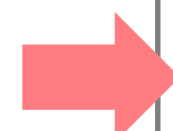


2013年

2010~2013
平均成長率
7.6%

国内
新規システム販売率
12%

保守更新率
84%



2014年

2011~2014
平均成長率
7.8%

20%

93%

成長指数をキープ



国内CAD/CAM市場でのシェアNo.1確立を目指す

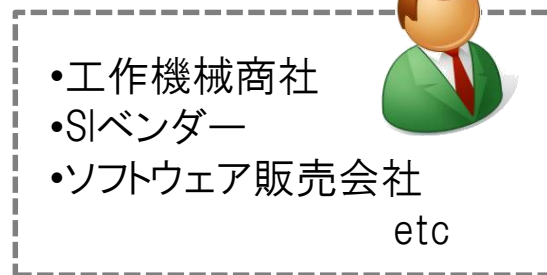
国内CAD/CAMシステム事業の維持・拡張

国内CAD/CAMシステム事業の2015年の施策

【主な商流】



既存販売チャネル



顧客

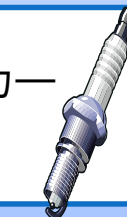
金型メ-カ-



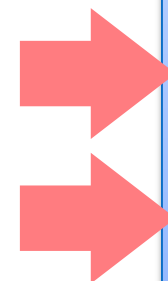
製品メ-カー
内製部門



部品メ-カー
内製部門



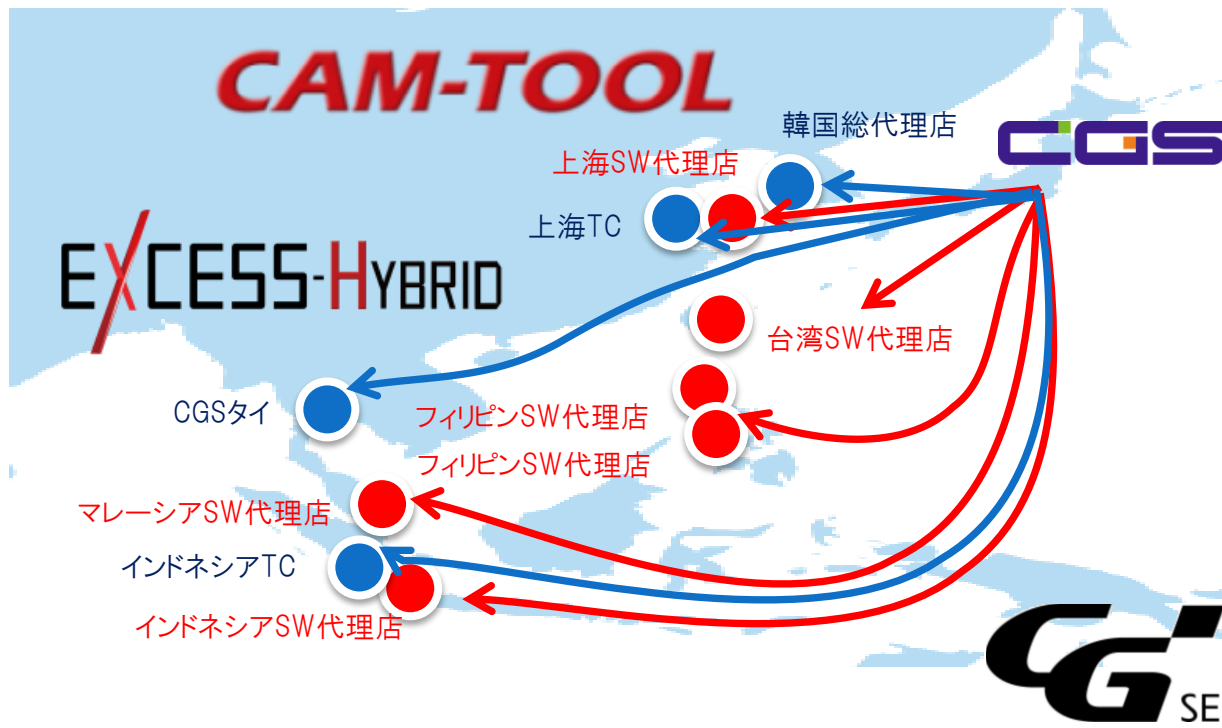
その他



2015年の施策

- 新たな販売チャネルの構築
 - 工作機械メ-カー、ツーリングメ-カー等、金型業界
関連企業との協業
 - 工作機械商社の販売網(地域)を拡大
- 販売体制の見直し
- パブリックショー出展による新規顧客獲得の強化

成長する海外CAD/CAM市場の取り込み【当社のアジア戦略】



- Blue Circle**: DSモデル
【Direct Sales: 直販】
 - ・主に既存製品
 - ・日系を中心に販売
- Red Circle**: BP(代理店販売)モデル
【Business Partner: 間販】
 - ・主にCGシリーズ
 - ・ローカル企業中心に販売

「日系への直接販売」+「海外ローカルへの間接販売」

成長する海外CAD/CAM市場の取り込み【当社のアジア戦略】

地域別の状況と2015年の施策(1)

	売上高 前年同期比(※)	2014年サマリー	2015年 主な施策
中国	+41%	<ul style="list-style-type: none"> 前半、スマホ需要拡大で設備投資意欲向上、日系工作機械のバンドル版CAM-TOOLの販売が堅調に推移。 後半にかけては中国の景気悪化で設備投資抑制の動き。 	<ul style="list-style-type: none"> 大手日系企業の内製部門への販売+機械とのバンドル販売によるローカルエリアへの進出をさらに拡大。
韓国	+26%	<ul style="list-style-type: none"> ウォン高、大手生産財メーカーの業績不振で設備投資抑制傾向。 CAM-TOOL年末キャンペーンが奏功し前年を上回る。 	<ul style="list-style-type: none"> 大手向けカスタマイズ(独自化、自動化)案件への対応による拡販を目指す。

※CGS単体ベースでの比較。

成長する海外CAD/CAM市場の取り込み【当社のアジア戦略】

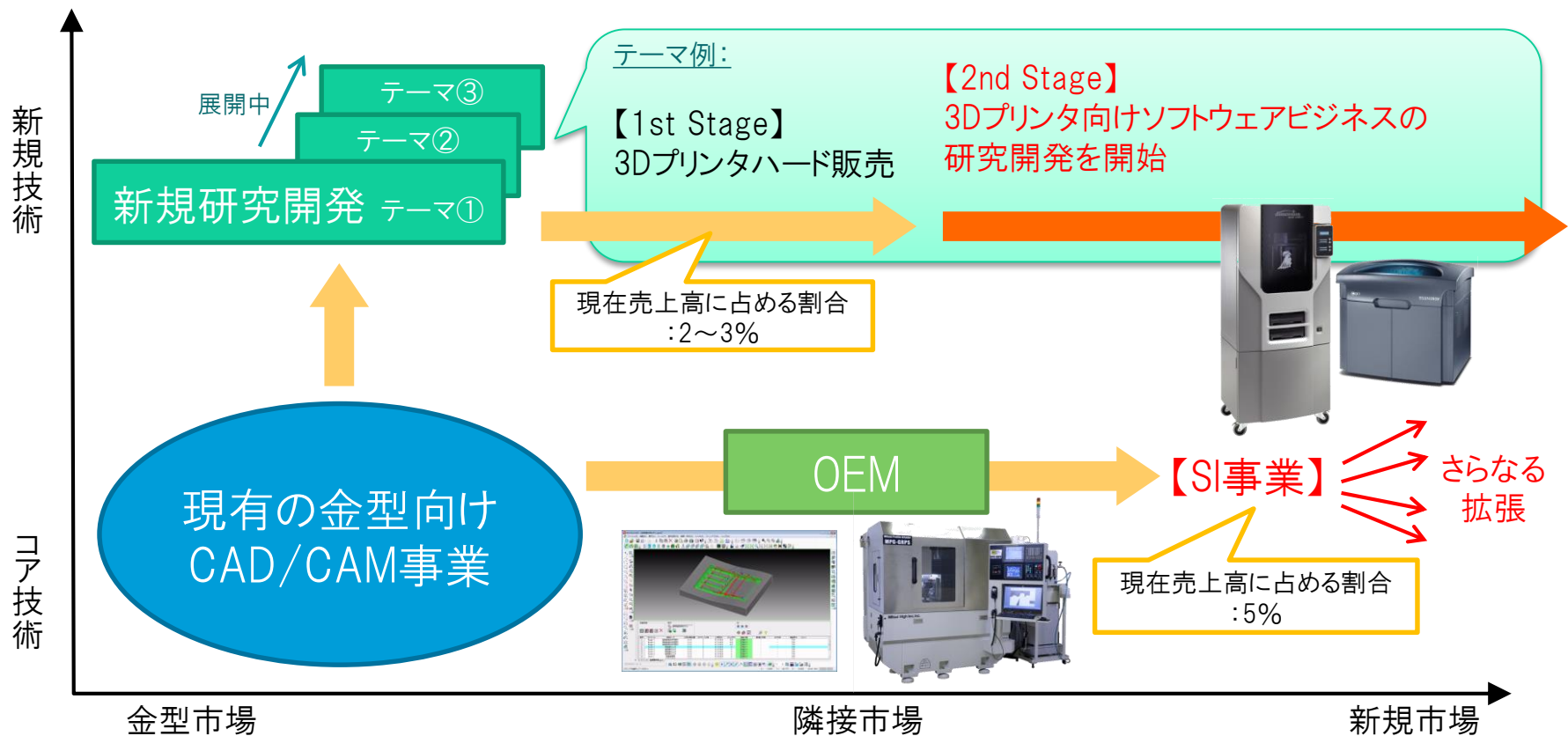
地域別の状況と2015年の施策(2)

	売上高 前年同期比(※)	2014年サマリー	2015年 主な施策
タイ	+16%	<ul style="list-style-type: none"> 前半は政情不安の影響が残り設備投資のずれ込み。後半は政情不安の影響が薄らぐ。 大型案件受注および為替の影響で前年比3割増。 	<ul style="list-style-type: none"> ローカルスタッフを中心とした営業活動をさらに推進。 タイ国内はもとより、タイをハブエリアとした周辺国での活動を活発化。
アセアン	+57%	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアTC設立でマーケティング活動、サポートが充実。商社・代理店との協力関係構築が進み、インドネシア、フィリピンでのローカル販売が堅調。 	<ul style="list-style-type: none"> 人員増員し販売体制を強化。 引続き商社・代理店との関係構築とローカル販売の強化を推進。

※タイは子会社売上高での比較。

※CGS単体ベースでの比較。アセアン：ベトナム、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、インド

次世代収益源としてのSI事業の育成



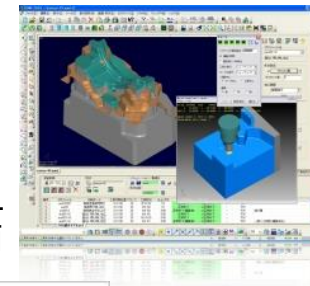
現有開拓中のOEMビジネスの収益安定確保に加え、
新規領域を開拓

新規事業の取り組み例(2014年～)

アルゴグラフィックス様
へのCAMソルバー(※1)
提供

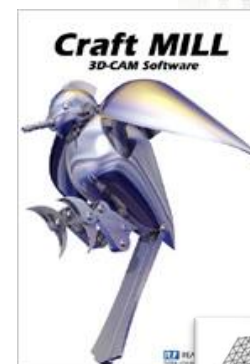
同社のCATIA®版金型CAM「iBlue
CLIKS」に当社の金型用3次元CAMシ
ステム「CAM-TOOL」の形状加工用
CAMソルバーを提供

(参考)
CAM-TOOL
画面



切削加工機メーカーが
代理店となり
「Craft MILL」を海外で
取扱開始

切削加工機メーカーの岩間工業所様
が当社の試作向けCAMシステム
「Craft MILL」の取扱を開始、海外へ
販路が拡大

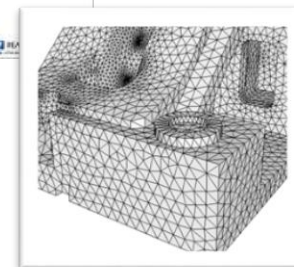


Craft MILL
パッケージ

サポイン(※2)事業への
取り組み

経済産業省の戦略的基盤技術高度
化支援事業(サポイン事業)において
産学連携で3Dプリンタ関連ソリューシ
ョン開発を展開

3Dデータ
イメージ



(※1)CAM システムで NC データ作成時に内部で稼働する計算エンジン。

(※2)サポイン=サポーティングインダストリー、ものづくり基盤技術。

上記以外にも複数の新規事業が進行中

次期の見通し

市場環境の変化(+)

(国内)

- ・ 製造業は製造業の好調と連動して堅調に推移するものと予想

(海外)

- ・ アセアンはタイを中心に景気回復の兆し
- ・ 北米では依然として自動車産業が活況

市場環境の変化(-)

(海外)

- ・ 中国の成長率停滞
- ・ 韓国内景気の冷え込み
- ・ 北米での価格競争激化による利益率低下の懸念



国内市場

- ・ 高い保守更新率の維持・向上による安定した収益の確保
- ・ 製品力(機能、精度)のさらなる改善によって販売シェアを伸長

海外市場

- ・ 日系企業へのフォロー継続および拡販
- ・ アセアン地域でのローカル企業への知名度向上、代理店およびOEM製品を活用し拡販

前年度までの成長戦略を本年度も継続

2015年度 連結通期業績予想

(単位:百万円)

科目	2014年 連結業績		2015年通期 連結業績予想		2015年予想—2014年実績 比較	
	【実績】	構成比	2015年 2月13日 【予想】	構成比	増減額	増減率
売上高	4,047	100.0%	4,100	100.0%	+52	+1.3%
営業利益	278	6.9%	300	7.3%	+21	+7.7%
経常利益	304	7.5%	320	7.8%	+15	+5.0%
当期純利益	311	7.7%	270	6.6%	△41	△13.3%

売上面： 国内では引続き需要が堅調に推移する見込み、ただし海外市場の動向が一部不安定であるため売上高は前年度と比較し若干増収の見込み。

利益面： 営業利益・経常利益については増益予想、当期純利益については税効果のプラス影響が昨年ほどの大きな額を想定できないことから、前年度と比較し減益予想。

連結セグメント売上予想

科目	2014年 連結業績 【実績】	2015年通期 連結業績予想		2015年予想—2014年実績 比較	
		2015年 2月13日 【予想】	構成比	増減額	増減率
CAD/CAM システム等事業	3,410	3,450	84.1%	+39	+1.2%
金型製造事業	636	650	15.9%	+13	+1.6%
合計	4,047	4,100	100%	+52	+1.3%

今後の成長イメージ

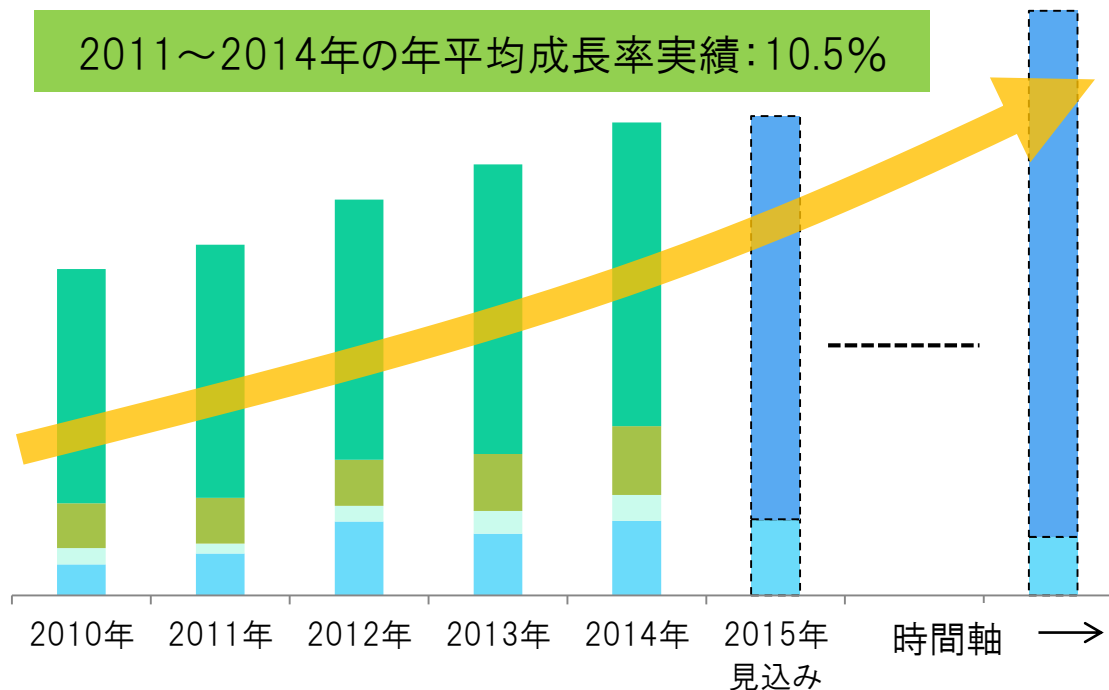
【国内CAD/CAM市場】
国内市場における製品シェアの拡大

【海外CAD/CAM事業】
「日系への直接販売」+
「海外ローカルへの間接販売」


【SI事業】
現有開拓中のOEMビジネスの
収益安定確保に加え、
新規領域を開拓

【金型製造事業】
安定した収益・利益率を継続確保

2011～2014年の年平均成長率実績:10.5%



	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年予想
国内CAD/CAM事業	2,004	2,165	2,224	2,477	2,598	3,450
海外CAD/CAM事業	383	393	396	488	589	
SI事業	138	84	132	193	223	650
金型製造事業	266	358	633	528	636	
合計	2,792	3,002	3,387	3,686	4,047	4,100

A vertical decorative element on the left side of the page, consisting of a grid of small squares in various colors (orange, green, blue) scattered across the grid.

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものです、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

株式会社C&Gシステムズ 総務部 IR担当

E-mail: cgs_ir@cgsys.co.jp